

東北新幹線 地震発生編

2026年4月20日、三陸沖で発生したM7.7、最大震度5強の地震。東北地方各線が運転を見合わせ中、帰宅を目指す。



2026年5月4日発行
文学フリマ東京42無料配布ペーパー

著者 B快特
編集 都筑みかげ
発行所 新砂通信
shinsunews-customer@yahoo.co.jp
X (Twitter) @shinsuna_news_s

桜シーズンの青森県へ

日本の春を象徴する桜。青森県では例年4月中旬から下旬ごろに見頃を迎える。この桜シーズンに合わせて青森県を走るローカル私鉄・津軽鉄道では、沿線の芦野公園の花見客への対応としてストープ列車としても使用される旧型客車を用いた臨時列車が運行された。

通常は冬のストープ列車として走ることが多い旧型客車を春に楽しめる貴重な機会ということで、筆者は青森へと向かった。

津軽鉄道を満喫

4月19日朝、夜行バスで青森駅に到着し、奥羽本線で弘前へ向かう。運よく、花見シーズンの臨時快速が走っており、快適な移動となった。弘前駅でレンタカーを借り、津軽鉄道が走る五所川原市を目指す。

沿線4か所ほどでディーゼル機関

車が牽引する客車列車を撮影する。ディーゼル機関車はDD352という1959年製の車両、旧型客車は1948年製のオハフ33と1954年製のオハ46という編成でカラーリングも相まって正しく昭和がそのまま残ったかのような列車である。そんな列車を令和に撮れることに感謝しつつ、快晴の天気もあり、大満足の撮影となった。この日は夕方にホテルに入り、晩酌をしつつ、明日に備えてしっかりと休養を取った。

翌日20日も津軽鉄道を楽しむ。貴重な旧型客車なので、この日は撮影だけでなく乗車も楽しもうと、3セク・公営を除く私鉄最北端の駅・津軽中里駅～津軽五所川原駅までの1往復を旧型客車で堪能する。芦野公園駅からは花見観光のツアー客で車内は満員となり、旧型客車が観光資源として津軽鉄道を支えていることを実感し、嬉しく思った。

旧型客車乗車後は芦野公園へ向かう。芦野公園駅周辺は津軽鉄道の線路の両側に桜が植えられ、「桜のトンネル」の中を走る列車が撮影できる有名撮影スポットである。ちょうど満開に咲いた桜と客車列車を撮影でき、大満足で芦野公園での撮影を終えた。



津軽鉄道のDD352機関車と旧型客車



桜のトンネルを走る津軽鉄道の機関車と旧型客車

レンタカーで弘前へ

芦野公園での撮影を終えた後、大沢内駅付近で最後の客車列車を撮影し、レンタカーを返却するため、弘前へ車を走らせる。自宅のある神奈川県横浜市へ戻るために予約した「はやぶさ40号」に新青森駅から乗車するには、弘前駅17時41分発の奥羽本線に乗車する必要があるが、順調に走れば間に合いそうである。

そんなことを思いながら、車を走らせていると、携帯電話からあの嫌な音が鳴った。そう、緊急地震速報の音である。音に驚いたが、周囲の車は走り続けているので、筆者も車を走らせ続けるが、特に揺れを感じることはなかった。緊急地震速報が出たものの、大きな地震ではなかったのだらうと安心しつつも、一度、車を止めて携帯電話を確認する。地震の震源は三陸沖で、最大震度は青森県階上町で震度5強とのこと、地震大国日本においてはよくある地震だと思い、安心して再び車を弘前へ走らせた。

弘前を脱出できるのか？

無事、17時25分頃にレンタカーを返却し、奥羽本線に乗車するために弘前駅へ向かう。駅に着くと改札口の前に人だかりができていたが、桜シーズン故の混雑だろうと気にもせず指定席券売機に向かい、えきねっとで予約していた横浜までの切符を発券する。発券して改札口に向かうと、駅員がアナウンスをしている。どうやら、地震の影響で奥羽本線が運転を見合わせているようだ。新青森駅で東北新幹線に乗り継がなければならないので、駅員に新青森で「はやぶさ40号」に乗り換えるが、奥羽本線は運転再開できそうか尋ねると、「東北新幹線も運転を見合わせています。」という衝撃の返答。急いでインターネットを確認すると、東北新幹線の運転再開は未定との情報が。さらに、津波警報も発令されていた。

ここで、今回の地震がただごとでは無いことを悟り、弊会のグループLINEに弘前で足止めを食らっていることを報告した。青森空港20時45分発のJL150便に空席があると教えてもらったが、1時間も待てば新幹線も運転再開するだろうという慢心もあり、発券する決心がつかないうちに、満席になってしまった。結果的にはJL150便に乗るのが20日のうちに自宅へ着くための正解だったと思う。

奥羽本線も運転再開しない中、長期戦になることを覚悟し、近くのコンビニで食糧を買い込む。その後も改札口で待機していると、18時20分頃に青森方面の奥羽本線が運転再開するとのアナウンスが入る。改札が解放され、定刻だと17時30分発の臨時特急「弘前さくらまつり5号」の乗り場へ案内された。今日は特急券なしで乗車可能とのことなので、ありがたく乗車する。青森方面への運転再開後一番列車ということもあり、4両編成の列車は通路まで満員になり、18時40分頃に青森駅へ向けて出発した。途中、対向列車との交換に時間がかかったものの、19時40分頃に新青森駅に到着した。



弘前駅改札前。五能線以外が運転を見合わせているため、人だかりが出来ている

20:45	→	22:05	座席表
青森	1時間20分	東京(羽田)	
JAL 150			22,780円~
> 767 ㊦			残席2
株主割引		22,780円	残席2
変更可	> 運賃規則		
フレックス		45,110円	残席2
変更可	> 運賃規則		

当日のJL150便の予約画面。この時点ではまだ株主割引にも2席の残席があった。

はやぶさよ、走れ!

新青森駅の新幹線乗り場に着くと新幹線の運転再開を待つ人々でごった返していた。北海道新幹線は運転再開しているものの、東北新幹線は未だ運転再開の目途は立っていない。なんとか青森を脱出する手段がないか調べていると、高速バス「パ



新青森駅の新幹線コンコース内の様子

ンダ号」の青森駅22時20分発の便を見つけるも、当日はネット予約が不可、近隣に予約可能なコンビニがあるかも分からないので、泣く泣く諦めた。さらに、20日のうちに東北新幹線が運転再開しない可能性もあると判断し、青森のホテルや翌朝の飛行機の情報を収集するも、東北新幹線の運転再開を待つのが最優先と判断し、新青森駅で待機を続けた。

待機していると、「本日中の東京方面の列車はすべて運休、仙台行きと盛岡行きのみの運行です」とのまさかの放送が入る。そうはいっても運転再開したら大幅遅れでも東京行きを走らせるのではないかと思いつきながら、やることも特にないので、ホームに向かい、次に入線するであろう「はやぶさ96号」仙台行きの乗車口に並ぶ。待っていると、「上りの東北新幹線はすべて運休、本日新青森駅を発車する列車はない」との放送が入る。今日のうちに青森県を脱出できないことを覚悟していたが、「はやぶさ96号」が仙台行きの表示で入線した。もしかして、仙台までは戻れるのではないかと思い、「はやぶさ96号」にとりあえず乗り込み、座席を確保した。

車内で待機し、インターネットをチェックしていると、21時頃に東北新幹線運転再開とのニュースを見つけた。とりえず、南下できそうだと安心して、「はやぶさ96号」も準備ができ次第、運転再開すると放送が入った。やはり、東京までは行けないものの、仙台までは進めそうだ。そして、21時50分頃、「はやぶさ96号」は新青森駅を出発、なんだかんだ新青森駅で2時間の足止めとなった。

新青森からの運転再開後一番列車なので、途中、安全確認のため徐行運転を行いつつも、仙台へ向けて新幹線は走っている。仙台で泊まるカプセルホテルを予約したり、仮眠を取ったりしながら過ごして、仙台駅に着いたのは日付が変わって21日の深夜1時半頃だった。

仙台駅では郡山行の「やまびこ」に接続していたものの、東京行への接

続はないため、改札を出る。乗車予定だった「はやぶさ40号」は運休になったため、有人改札で払戻の証明を受けた。寝床のカプセルホテルに着いたころには深夜2時になっていた。深夜も営業していた近くのラーメン屋で遅すぎる夕食を済ませ、風呂にも入ってから、深夜3時頃に就寝した。



真夜中の仙台駅 この時間に仙台駅に来ることは今後もう無いだろう



深夜にラーメンを食べる……

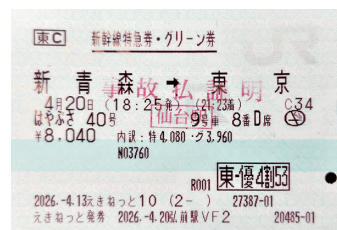
関東人の帰還

朝6時頃に目覚めたので、そのまま出発の準備をして仙台駅へ向かった。東北新幹線は始発から平常ダイヤで動いており、昨日の混乱が嘘のように仙台駅も落ち着いていた。仙台で足止めになってしまった時点で今日の仕事は半休を取らざるをえなかったため、急ぐ訳でもなく、特急料金の安い「やまびこ122号」でのんびりと南下することにした。「やまびこ122号」は定刻で上野駅に到着し、上野東京ラインに乗り換えて帰宅した。

おわりに

頻繁に旅行に出ますが、ここまで大規模な新幹線の輸送障害に巻き込まれたのは初めてでした。今回、一番影響を抑えられた解決策はJL150便を予約して20日のうちに羽田空港に帰ってくることだったので、こういう有事の際は決断力が大事になるなど感じました。

お読みいただき、ありがとうございます。



事故払戻の証明を受けた特急券

大人気 " 輸送障害 " 旅行記 運転見合わせ

鉄道 総集編 航空 総集編

皆さんは旅行先で電車が運転を見合わせたり、飛行機が欠航した経験はありますか？
幾度となく輸送障害に巻き込まれた者たちによる旅行記の総集編。上下構成でお届け！



誌面サンプルや通販サイトへのリンクはこちらのQRコードから

<https://sites.google.com/view/shimsuna-news/books/untenmiawase-kouku>



各委託書店・通販にて大好評発売中

【書店】書泉（グランデ・ブックタワー） メロンブックス

【通販】BOOTH メロンブックス とらのあな 書泉オンライン